

科目名		はり実技3							年度	2025	
英語科目名		Needle Practice 3							学期	前期	
学科・学年		鍼灸科 2 年次		必／選	必	時間数	45	単位数	1	種別※	実習
担当教員		小堀孝浩 宮本陽平		教員の実務経験		有	実務経験の職種		鍼灸師		
【科目の目的】											
1年時に学んだ解剖学的知識を活かし、身体の筋肉、神経、関節部などに対する触診・刺鍼を学び、体得する。その技術を応用し、低周波鍼通電療法（以下、鍼通電療法）の方法と適切に評価する力を身につけることを目的とする。											
【科目の概要】											
①毎回の課題となる解剖学的知識について復習し、触診のイメージ・方法を習得する。②触診のコツを学んだら、実際に課題の筋肉等へ刺鍼を行う。③刺鍼後、鍼通電療法を試み、適切に行えているか評価・理解する。※授業に臨むにあたり、実技の授業は予習・復習が大切になるため、筋骨格系の基礎知識を復習し、イメージを膨らませて、触診の予習・復習をすること、基本的な刺鍼がしっかりとできるように予習・復習することが大切である。日頃から練習し、毎回の授業の刺鍼を意識して取り組むことで、全身の様々な部位、深さ、方向への刺鍼が可能となり、鍼通電療法を習得していくことができる。											
【到達目標】											
解剖学的知識を復習して、全身の筋肉や神経などをイメージしながら触診・刺鍼できるように修練し、低周波鍼通電療法の基本的な方法を習得することを目標とする。また、鍼通電療法の臨床現場での応用についても学ぶようにする。											
【授業の注意点】											
授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。											
評価基準＝ルーブリック											
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力						
到達目標 A	基本刺鍼が素早く・リズムよくできる。	基本刺鍼がスムーズにできる。	基本刺鍼が問題なくできる。	基本刺鍼が時間がかかるができる。	基本刺鍼が上手くできない。						
到達目標 B	低周波鍼通電療法の機械をスムーズに使え、施術内容も理解して使用できる。	低周波鍼通電療法の機械をスムーズに使える。	低周波鍼通電療法の機械を問題なく使える。	低周波鍼通電療法の機械を時間がかかるが使える。	低周波鍼通電療法の機械を使いこなせない。						
到達目標 C	刺鍼する筋肉など目標となる部位を素早く・的確に触診できる。	刺鍼する筋肉など目標となる部位を的確に触診できる。	刺鍼する筋肉など目標となる部位を触診できる。	刺鍼する筋肉など目標となる部位の触診に時間がかかる。	刺鍼する筋肉など目標となる部位を触診できない。						
到達目標 D	低周波鍼通電療法の手技を素早く・的確に行える。	低周波鍼通電療法の手技を的確に行える。	低周波鍼通電療法の手技を問題なく行える。	低周波鍼通電療法の手技が時間がかかるが行える。	低周波鍼通電療法の手技が上手くできない。						
到達目標 E	目的とした低周波鍼通電療法ができているか素早く理解し、応用力も身につけている。	目的とした低周波鍼通電療法ができているか素早く理解している。	目的とした低周波鍼通電療法ができているか理解している。	目的とした低周波鍼通電療法ができているか時間はかかるが理解している。	目的とした低周波鍼通電療法ができているか理解力が乏しい。または理解できていない。						
【教科書】											
担当教員が資料を作成し、毎回配布する。											
【参考資料】											
【成績の評価方法・評価基準】											
実技試験を実施し、評価する。また、予習や毎回提出するプリント、課題などの提出状況、授業の取り組みも評価に加味する。											
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。											

